

第 11 回議会報告会 報告書

地域名	養父地区		
年月日	平成 26 年 11 月 10 日 (月)	会場名	奥米地公民館
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 10 分
参加数	男 7 人	女 4 人	合計 11 人
班 長	深澤 巧	司会者	深澤 巧
報告者	藤原 哲郎	書記	藤原 敏憲
班員名	深澤 巧、北尾 行雄、藤原 哲郎、藤原 敏憲		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>①議案第 71 号 家屋移転の損害賠償金を支払うとあるが、大きな金額だが詳細な内容は。</p> <p>②議案第 77 号 学校パソコン等の取得について詳細な内容は。何台更新したのか。パソコン教室はあるのか。</p> <p>③福祉防災マップの作成が 7 地区できていないとあるが、どうなっているのか。</p>	<p>①昭和 50 年ごろ造成工事をして分譲した八鹿町虹の街の宅地に、クラックが入るなどして家屋に損害が出た。調停にかけられていたが、合意し 3,800 万円を市が支払うもの。</p> <p>②小・中学校の教室のパソコンが古くなった。今回は、3 小学校のパソコン 126 台・プリンター 10 台等を更新する。</p> <p>③社会福祉協議会に委託して作成しているが、地域の理解を得られていないなどの理由で、未完成の地区がある。災害時の対応等に必要のものであり、議会として早急に作成するよう求めている。</p>	
	<p>①農業特区の認定で養父校区内でも具体的な取り組みが行われるのか。棚田は活用されるのか。当地域は耕作放棄地、空き家が増えている現状にある。</p> <p style="padding-left: 2em;">これの解消になるのか。期待してよいのか。雇用の場所をつくってほしい。</p>	<p>①国の国家戦略特区の農業分野に養父市が提案して、それを国が認めて認定された。農地法第 3 条の許認可権限を農業委員会から市に移譲することについては、農業委員会の同意を得て市に移譲された。</p> <p style="padding-left: 2em;">具体的な農業分野での施策などについては、企業が中心になって取り組まれ、現在 9 業者が事業提案している。その提案を国の「区域会議」で検討して決定すれば養父市に降りてくる。まだ区域会議で決定していないので、詳細は未定だが、農産物の 6 次産業化などの事業が提案されていると聞いている。</p> <p style="padding-left: 2em;">既に、養蜂業者が養父市の農地を活用する取り組みも出ている。若者の雇用などで元気な養父市が作り上げられることを期待している。</p>	
意見交換会での質疑			

意見交換会での質疑	<p>②八鹿病院が大変なことになっている。市民の命の問題であり、病院を守ってほしい。話し合いは進んでいるのか。大きな赤字が出ているがどうなのか。予約制になっており外来に行きにくい。議会はしっかりしてほしい。病院は閑散としている。</p> <p>③やぶパートナーズ(株)の評判はどうか。何を目的につくられた会社か。</p> <p>④豊岡市、朝来市には立派な図書館があって多くの利用がある。夏休みに親、祖父母連れの子どもたちが一緒に過ごしている。うらやましい。養父市にはつくられないのか。</p>	<p>②議会としても医師が辞めることがないように取り組んでいく。病院管理者の説明を聞いたが、今度は医師の説明を聞くようにしている。</p> <p>③起業を支援することが本来の設立趣旨である。棚田米の販売やコンビニ経営を行っている。決算委員会より意見を出している。起業家を支援していくという本来の趣旨にのっとった経営をしてほしい、ということを指摘している。</p> <p>④図書館建設の要望か市民からもあり、議会でも取り上げているが、財政的な問題もあり、早期に建設とはならない。</p>
その他(提言など)	<p>①働く場所がないと子どもたちも養父市に帰せない。子どもたちが帰り活力のあるまちになってほしい。企業誘致に力を入れてほしい。</p> <p>②高校生の通学に困っており、夜間になると熊が出てくる、心配だ。子どもに住みよい養父市をつくってほしい。</p> <p>③工業団地をつくっても、現状では地元からは物を購入しない。商工会が行った「産業フェア」の効果はあまりなかった。人を集めるより、こちらから都会に出向くやり方が必要ではないか。</p> <p>④養父地区の鯉料理を何とか生かしたい、企画案が出ている。市の支援をお願いしたい。</p>	
備考(今後の改善点等) なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 26 年 11 月 14 日

報告者 3 班 班長 深 澤 巧

